

あなたの
活躍、
教えて
ください！

府中の農業の守り手

守り手
No. 01



迫 喜久男さん

新山 泰造さん

竹下 猛虎さん

先人が残したこの地の農業を 絶やさない。

上下町矢多田・松崎地区では、約75戸の農家で農事組合法人上下南農産を設立後、20年が経過しました。現状では高齢化、人口減少が進んでいる地域ですが、農地を後世につなぐため地域の皆さんが協力して対策グループを作り、荒廃地の草刈り・鳥獣害対策の活動に一丸となって取り組まれています。特に収穫した米や野菜を手にしたときは、やりがいを強く感じられるそう。活動を通じて、子どもや孫が戻って来られる田舎作りを進められています。

近年の暑さに加え、 鹿などの鳥獣被害が深刻。

この猛暑は米にとって大打撃。収穫量が減少しているとのこと。また対策しても切りがない鳥獣被害に悩まされているとのこと、「非常に厳しい状態が続いている」と話されます。

岳山清流米

農薬と化成肥料の使用を少なくし、岳山の清らかな水で栽培したお米は、おいしいと好評。



農事組合法人上下南農産

所 府中市上下町矢多田231-1

☎ 6 2-2 4 3 3

守り手
No. 02



橘高 桂子さん

兄の遺志を継ぎ、 田を守り抜くと決意。

上下町佐倉に実家を持つ橘高さんは、約50aの田を地域の皆さんと一緒に守られています。実は農業をやっている今の姿は想像もしていなかったとのこと。今年の1月、実家で農業をやろうと躍起になっていたお兄さまが急逝。たとえ未経験でもお兄さまの遺志を継ぎたいと決意した橘高さんは、地域の皆さんに相談。思いを聞いた皆さんが、元町のお住まいから通われる橘高さんをサポートされています。



橘高さんに協力する、上下町佐倉の皆さん



トラクターの運転を教えた向田さん

トラクターの運転に大苦戦。 鹿の被害も後を絶たず。

最も苦労したのはトラクターの運転だと話す橘高さん。「横転するかと思ったけど、教えてもらったおかげで何とかなった」と話されました。また、鹿に3度も苗を食べられてしまったそう。